

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】令和 2 年 1 月 9 日 (2020.1.9)

【公表番号】特表 2019-503138 (P2019-503138A)  
 【公表日】平成 31 年 1 月 31 日 (2019.1.31)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-004  
 【出願番号】特願 2018-535089 (P2018-535089)  
 【国際特許分類】

H 0 4 B 7/0413 (2017.01)

H 0 4 B 7/06 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 B 7/0413 2 0 0

H 0 4 B 7/06 9 8 6

【手続補正書】  
 【提出日】令和 1 年 11 月 21 日 (2019.11.21)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

ユーザ機器 (UE) によるワイヤレス通信の方法であって、  
 少なくとも第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポートを生成するために、アンテナポートの対を組み合わせることと、  
 より大きなシステム帯域幅の狭帯域領域において送信された基準信号を受信することと

、  
 組み合わせられたアンテナポートごとに、アンテナポートの前記組み合わせられた対の各アンテナポートのリソース要素 (RE) 上で受信された前記基準信号を加算することと

、  
前記組み合わせられたアンテナポートのための前記加算された基準信号に基づいて、前記組み合わせられたアンテナポートごとにチャネル推定値を決定することと、

各組み合わせられたアンテナポートの前記ポートの対応する RE 上で同じデータを受信することと、

前記組み合わせられたアンテナポートの前記決定されたチャネル推定値に基づいて、前記 RE 上で受信されたデータを空間周波数ブロックコーディング (SFBC) 対として処理することと

を備える方法。

【請求項 2】

アンテナポートの前記組み合わせられた対の各アンテナポートのリソース要素 (RE) 上で受信された前記基準信号を加算することは、

第 1 のアンテナポートの前記 RE を第 1 のスクランプリングシーケンスを用いてデスクランブルすることで、第 1 のデスクランブルされた信号を取得することと、

第 2 のアンテナポートの前記 RE を第 2 のスクランプリングシーケンスを用いてデスクランブルすることで、第 2 のデスクランブルされた信号を取得することと、

前記第 1 のデスクランブルされた信号を前記第 2 のデスクランブルされた信号と組み合わせることと

をさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 3】**

前記組み合わせることは、前記デスクランブルされた信号を加算することを備える、請求項 2 に記載の方法。

**【請求項 4】**

前記組み合わせることは、

前記デスクランブルされた信号に対して時間および / または周波数補間を実行することと、

前記補間されたデスクランブルされた信号を加算することと

を備える、請求項 2 に記載の方法。

**【請求項 5】**

前記アンテナポートの前記対を組み合わせた結果として前記 U E における結合利得をシグナリングすること

をさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 6】**

前記第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポート内の基準信号電力オフセットと前記 U E の前記結合利得との和に一致する電力オフセットを有するデータを受信すること

をさらに備える、請求項 5 に記載の方法。

**【請求項 7】**

プロセッサによって実行されると、請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載の方法を実行するための命令を備える、コンピュータプログラム。

**【請求項 8】**

ワイヤレス通信の装置であって、

少なくとも第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポートを生成するために、アンテナポートの対を組み合わせるための手段と、

より大きなシステム帯域幅の狭帯域領域において送信された基準信号を受信するための手段と、

組み合わせられたアンテナポートごとに、アンテナポートの前記組み合わせられた対の各アンテナポートのリソース要素 ( R E ) 上で受信された前記基準信号を加算するための手段と、

前記組み合わせられたアンテナポートのための前記加算された基準信号に基づいて、前記組み合わせられたアンテナポートごとにチャネル推定値を決定するための手段と、

各組み合わせられたアンテナポートの前記ポートの対応する R E 上で同じデータを受信するための手段と、

前記組み合わせられたアンテナポートの前記決定されたチャネル推定値に基づいて、前記 R E 上で受信されたデータを空間周波数ブロックコーディング ( S F B C ) 対として処理するための手段と

を備える装置。

**【請求項 9】**

アンテナポートの前記組み合わせられた対の各アンテナポートのリソース要素 ( R E ) 上で受信された前記基準信号を前記加算するための手段は、

第 1 のアンテナポートの前記 R E を第 1 のスクランプリングシーケンスを用いてデスクランブルすることで、第 1 のデスクランブルされた信号を取得することと、

第 2 のアンテナポートの前記 R E を第 2 のスクランプリングシーケンスを用いてデスクランブルすることで、第 2 のデスクランブルされた信号を取得することと、

前記第 1 のデスクランブルされた信号を前記第 2 のデスクランブルされた信号と組み合わせることと

を行うように構成される、請求項 8 に記載の装置。

**【請求項 10】**

前記組み合わせるための手段は、前記デスクランブルされた信号を加算するように構成される、請求項 9 に記載の装置。

## 【請求項 1 1】

前記組み合わせるための手段は、

前記デスクランブルされた信号に対して時間および／または周波数補間を実行することと、

前記補間されたデスクランブルされた信号を加算することと

を行うように構成される、請求項 9 に記載の装置。

## 【請求項 1 2】

前記アンテナポートの前記対を組み合わせた結果として前記 U E における結合利得をシグナリングするための手段

をさらに備える、請求項 8 に記載の装置。

## 【請求項 1 3】

前記第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポート内の基準信号電力オフセットと前記 U E の結合利得との和に一致する電力オフセットを有するデータを受信するための手段

をさらに備える、請求項 1 2 に記載の装置。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 2】

[0104] 先の説明は、ここで説明された様々な態様の当業者による実施を可能にするために提供される。これらの態様への様々な修正は、当業者には容易に明らかとなり、ここで定義された包括的な原理は、他の態様に適用され得る。ゆえに、特許請求の範囲は、ここに示された態様に制限されるよう意図されるのではなく、特許請求の範囲の文言と合致する全範囲が与えられるべきである。当業者に知られているまたは後に知られることとなる、本開示全体にわたって説明された様々な態様の要素と構造的および機能的に同等なものはすべて、参照によってここに明確に組み込まれ、特許請求の範囲によって包含されるよう意図される。さらに、ここで開示されたものはいずれも、そのような開示が特許請求の範囲に明確に記載されているかどうかにかかわらず、公衆に献呈されるよう意図されない。請求項の要素はいずれも、その要素が「～のための手段」という表現を使用して明確に記載されていない限り、ミーンズプラスファンクションとして解釈されるべきではない。

以下に本願の出願当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

[ C 1 ] ユーザ機器 ( U E ) によるワイヤレス通信の方法であって、

少なくとも第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポートを生成するために、アンテナポートの対を組み合わせることと、

より大きなシステム帯域幅の狭帯域領域において送信された基準信号を受信することと

、

組み合わせられたアンテナポートごとに、アンテナポートの前記組み合わせられた対の各アンテナポートのリソース要素 ( R E ) 上で受信された前記基準信号を加算することと

、

組み合わせられたアンテナポートのための前記加算された基準信号に基づいて、前記組み合わせられたアンテナポートごとにチャネル推定値を決定することと

を備える方法。

[ C 2 ] アンテナポートの前記組み合わせられた対の各アンテナポートのリソース要素 ( R E ) 上で受信された前記基準信号を加算することは、

第 1 のアンテナポートの前記 R E を第 1 のスクランプリングシーケンスを用いてデスクランブルすることで、第 1 のデスクランブルされた信号を取得することと、

第 2 のアンテナポートの前記 R E を第 2 のスクランプリングシーケンスを用いてデスクランブルすることで、第 2 のデスクランブルされた信号を取得することと、

前記第 1 のデスクランブルされた信号を前記第 2 のデスクランブルされた信号と組み合わせること

をさらに備える、C 1 に記載の方法。

[ C 3 ] 前記組み合わせることは、前記デスクランブルされた信号を加算することを備える、C 2 に記載の方法。

[ C 4 ] 前記組み合わせることは、

前記デスクランブルされた信号に対して時間および / または周波数補間を実行することと、

前記補間されたデスクランブルされた信号を加算することと

を備える、C 2 に記載の方法。

[ C 5 ] 各組み合わせられたアンテナポートの前記ポートの対応する R E 上で同じデータを受信することと、

前記組み合わせられたアンテナポートの前記決定されたチャネル推定値に基づいて、前記 R E 上で受信されたデータを空間周波数ブロックコーディング ( S F B C ) 対で処理することと

をさらに備える、C 1 に記載の方法。

[ C 6 ] 前記アンテナポートの前記対を組み合わせた結果として前記 U E における結合利得をシグナリングすること

をさらに備える、C 1 に記載の方法。

[ C 7 ] 前記第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポート内の基準信号電力オフセットと前記結合利得との和に一致する電力オフセットを有するデータを受信すること

をさらに備える、C 6 に記載の方法。

[ C 8 ] 基地局 ( B S ) によるワイヤレス通信の方法であって、

より大きなシステム帯域幅の狭帯域領域における送信のために、少なくとも第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポートを生成するために、アンテナポートの対を組み合わせることと、

前記第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポートの各々について、アンテナポートの前記組み合わせられた対の各アンテナポートの対応する R E 上で同じデータを送信することと

を備え、

前記第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポートの各々について、チャネル推定値は、受信 U E によって決定され、前記 R E 上で送信された前記データは、前記決定されたチャネル推定値に基づいて、前記受信 U E によって対で処理される、

方法。

[ C 9 ] 前記アンテナポートの前記対を組み合わせた結果として前記 U E における結合利得を備えるシグナリングを受信すること

をさらに備える、C 8 に記載の方法。

[ C 1 0 ] 前記組み合わせられたアンテナポート内の基準信号電力オフセットと前記 U E における前記結合利得との和に一致する電力オフセットを有するデータを送信すること

をさらに備える、C 9 に記載の方法。

[ C 1 1 ] 前記第 1 または第 2 の組み合わせられたアンテナポートのうちの一方の電力を、他方の組み合わせられたアンテナポートの電力に一致するようにブーストすること

をさらに備える、C 8 に記載の方法。

[ C 1 2 ] ワイヤレス通信の装置であって、

少なくとも 1 つのプロセッサと、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

少なくとも第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポートを生成するために、アンテナポートの対を組み合わせることと、

より大きなシステム帯域幅の狭帯域領域において送信された基準信号を受信することと、

組み合わせられたアンテナポートごとに、アンテナポートの前記組み合わせられた

対の各アンテナポートのリソース要素（RE）上で受信された前記基準信号を加算することと、

組み合わせられたアンテナポートのための前記加算された基準信号に基づいて、前記組み合わせられたアンテナポートごとにチャネル推定値を決定することと

を行うように構成される、

前記少なくとも1つのプロセッサに結合されたメモリと

を備える、装置。

[C13] 前記少なくとも1つのプロセッサは、

第1のアンテナポートの前記REを第1のスクランプリングシーケンスを用いてデスクランブルすることで、第1のデスクランブルされた信号を取得することと、

第2のアンテナポートの前記REを第2のスクランプリングシーケンスを用いてデスクランブルすることで、第2のデスクランブルされた信号を取得することと、

前記第1のデスクランブルされた信号を前記第2のデスクランブルされた信号と組み合わせることと

を行うことで、アンテナポートの前記組み合わせられた対の各アンテナポートのリソース要素（RE）上で受信された前記基準信号を加算するように構成される、C12に記載の装置。

[C14] 前記少なくとも1つのプロセッサは、前記デスクランブルされた信号を加算することで前記組み合わせることを実行するように構成される、C13に記載の装置。

[C15] 前記少なくとも1つのプロセッサは、

前記デスクランブルされた信号に対して時間および/または周波数補間を実行することと、

前記補間されたデスクランブルされた信号を加算することと

を行うことで、前記組み合わせることを実行するように構成される、C13に記載の装置。

[C16] 前記少なくとも1つのプロセッサは、

各組み合わせられたアンテナポートの前記ポートの対応するRE上で同じデータを受信することと、

前記組み合わせられたアンテナポートの前記決定されたチャネル推定値に基づいて、前記RE上で受信されたデータを空間周波数ブロックコーディング（SFB）対で処理することと

を行うようにさらに構成される、C12に記載の装置。

[C17] 前記少なくとも1つのプロセッサは、

前記アンテナポートの前記対を組み合わせた結果として前記UEにおける結合利得をシグナリングすること

を行うようにさらに構成される、C12に記載の装置。

[C18] 前記少なくとも1つのプロセッサは、

前記第1および第2の組み合わせられたアンテナポート内の基準信号電力オフセットと前記UEの結合利得との和に一致する電力オフセットを有するデータを受信すること

を行うようにさらに構成される、C17に記載の装置。

[C19] ワイヤレス通信の装置であって、

少なくとも第1および第2の組み合わせられたアンテナポートを生成するために、アンテナポートの対を組み合わせるための手段と、

より大きなシステム帯域幅の狭帯域領域において送信された基準信号を受信するための手段と、

組み合わせられたアンテナポートごとに、アンテナポートの前記組み合わせられた対の各アンテナポートのリソース要素（RE）上で受信された前記基準信号を加算するための手段と、

組み合わせられたアンテナポートのための前記加算された基準信号に基づいて、前記組み合わせられたアンテナポートごとにチャネル推定値を決定するための手段と

を備える装置。

[ C 2 0 ] アンテナポートの前記組み合わせられた対の各アンテナポートのリソース要素 ( R E ) 上で受信された前記基準信号を前記加算するための手段は、

第 1 のアンテナポートの前記 R E を第 1 のスクランプリングシーケンスを用いてデスクランブルすることで、第 1 のデスクランブルされた信号を取得することと、

第 2 のアンテナポートの前記 R E を第 2 のスクランプリングシーケンスを用いてデスクランブルすることで、第 2 のデスクランブルされた信号を取得することと、

前記第 1 のデスクランブルされた信号を前記第 2 のデスクランブルされた信号と組み合わせることと

を行うようにさらに構成される、C 1 9 に記載の装置。

[ C 2 1 ] 前記組み合わせるための手段は、前記デスクランブルされた信号を加算するように構成される、C 2 0 に記載の装置。

[ C 2 2 ] 前記組み合わせるための手段は、

前記デスクランブルされた信号に対して時間および / または周波数補間を実行することと、

前記補間されたデスクランブルされた信号を加算することと

を行うように構成される、C 2 0 に記載の装置。

[ C 2 3 ] 各組み合わせられたアンテナポートの前記ポートの対応する R E 上で同じデータを受信するための手段と、

前記組み合わせられたアンテナポートの前記決定されたチャネル推定値に基づいて、前記 R E 上で受信されたデータを空間周波数ブロックコーディング ( S F B C ) 対で処理するための手段と

をさらに備える、C 1 9 に記載の装置。

[ C 2 4 ] 前記アンテナポートの前記対を組み合わせた結果として前記 U E における結合利得をシグナリングするための手段

をさらに備える、C 1 9 に記載の装置。

[ C 2 5 ] 前記第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポート内の基準信号電力オフセットと前記 U E の結合利得との和に一致する電力オフセットを有するデータを受信するための手段

をさらに備える、C 2 4 に記載の装置。

[ C 2 6 ] 命令を記憶するコンピュータ読取可能な媒体であって、前記命令は、プロセッサによって実行されると、

少なくとも第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポートを生成するために、アンテナポートの対を組み合わせることと、

より大きなシステム帯域幅の狭帯域領域において送信された基準信号を受信することと

組み合わせられたアンテナポートごとに、アンテナポートの前記組み合わせられた対の各アンテナポートのリソース要素 ( R E ) 上で受信された前記基準信号を加算することと

組み合わせられたアンテナポートのための前記加算された基準信号に基づいて、前記組み合わせられたアンテナポートごとにチャネル推定値を決定することと

を備える方法を実行する、コンピュータ読取可能な媒体。

[ C 2 7 ] アンテナポートの前記組み合わせられた対の各アンテナポートのリソース要素 ( R E ) 上で受信された前記基準信号を加算することは、

第 1 のアンテナポートの前記 R E を第 1 のスクランプリングシーケンスを用いてデスクランブルすることで、第 1 のデスクランブルされた信号を取得することと、

第 2 のアンテナポートの前記 R E を第 2 のスクランプリングシーケンスを用いてデスクランブルすることで、第 2 のデスクランブルされた信号を取得することと、

前記第 1 のデスクランブルされた信号を前記第 2 のデスクランブルされた信号と組み合わせることと

をさらに備える C 2 6 に記載のコンピュータ読取可能な媒体。

[ C 2 8 ] 前記組み合わせることは、前記デスクランブルされた信号を加算することを備える、C 2 7 に記載のコンピュータ読取可能な媒体。

[ C 2 9 ] 前記組み合わせることは、

前記デスクランブルされた信号に対して時間および / または周波数補間を実行することと、

前記補間されたデスクランブルされた信号を加算することと

を備える、C 2 7 に記載のコンピュータ読取可能な媒体。

[ C 3 0 ] 各組み合わせられたアンテナポートの前記ポートの対応する R E 上で同じデータを受信することと、

前記組み合わせられたアンテナポートの前記決定されたチャネル推定値に基づいて、前記 R E 上で受信されたデータを空間周波数ブロックコーディング ( S F B C ) 対で処理することと

を行うための命令をさらに備える、C 2 6 に記載のコンピュータ読取可能な媒体。

[ C 3 1 ] 前記アンテナポートの前記対を組み合わせた結果として前記 U E における結合利得をシグナリングすること

を行うための命令をさらに備える、C 2 6 に記載のコンピュータ読取可能な媒体。

[ C 3 2 ] 前記第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポート内の基準信号電力オフセットと前記 U E の結合利得との和に一致する電力オフセットを有するデータを受信すること

を行うための命令をさらに備える、C 3 1 に記載のコンピュータ読取可能な媒体。

[ C 3 3 ] ワイヤレス通信のための装置であって、

少なくとも 1 つのプロセッサと、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

より大きなシステム帯域幅の狭帯域領域における送信のために、少なくとも第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポートを生成するために、アンテナポートの対を組み合わせることと、

前記第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポートの各々について、アンテナポートの前記組み合わせられた対の各アンテナポートの対応する R E 上で同じデータを送信することと

を行うように構成され、

前記第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポートの各々について、チャネル推定値は、受信 U E によって決定され、前記 R E 上で送信された前記データは、前記決定されたチャネル推定値に基づいて、前記受信 U E によって対で処理される、

前記少なくとも 1 つのプロセッサに結合されたメモリと

を備える装置。

[ C 3 4 ] 前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記アンテナポートの前記対を組み合わせた結果として前記 U E における結合利得を備えるシグナリングを受信すること

を行うようにさらに構成される、C 3 3 に記載の装置。

[ C 3 5 ] 前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記組み合わせられたアンテナポート内の基準信号電力オフセットと前記 U E における前記結合利得との和に一致する電力オフセットを有するデータを送信すること

を行うようにさらに構成される、C 3 4 に記載の装置。

[ C 3 6 ] 前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

前記第 1 または第 2 の組み合わせられたアンテナポートのうちの一方の電力を、他方の組み合わせられたアンテナポートの電力に一致するようにブーストすること

を行うようにさらに構成される、C 3 3 に記載の装置。

[ C 3 7 ] ワイヤレス通信のための装置であって、

より大きなシステム帯域幅の狭帯域領域における送信のために、少なくとも第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポートを生成するために、アンテナポートの対を組み合

わせるための手段と、

前記第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポートの各々について、アンテナポートの前記組み合わせられた対の各アンテナポートの対応する R E 上で同じデータを送信するための手段と

を備え、

前記第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポートの各々について、チャネル推定値は、受信 U E によって決定され、前記 R E 上で送信された前記データは、前記決定されたチャネル推定値に基づいて、前記受信 U E によって対で処理される、

装置。

[ C 3 8 ] 前記アンテナポートの前記対を組み合わせた結果として前記 U E における結合利得を備えるシグナリングを受信するための手段

をさらに備える、C 3 7 に記載の装置。

[ C 3 9 ] 前記組み合わせられたアンテナポート内の基準信号電力オフセットと前記 U E における前記結合利得との和に一致する電力オフセットを有するデータを送信するための手段

をさらに備える、C 3 8 に記載の装置。

[ C 4 0 ] 前記第 1 または第 2 の組み合わせられたアンテナポートのうちの一方の電力を、他方の組み合わせられたアンテナポートの電力に一致するようにブーストするための手段

をさらに備える、C 3 7 に記載の装置。

[ C 4 1 ] 命令を記憶するコンピュータ読取可能な媒体であって、前記命令は、プロセッサによって実行されると、

より大きなシステム帯域幅の狭帯域領域における送信のために、少なくとも第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポートを生成するために、アンテナポートの対を組み合わせることと、

前記第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポートの各々について、アンテナポートの前記組み合わせられた対の各アンテナポートの対応する R E 上で同じデータを送信することと

を備える方法を実行し、

前記第 1 および第 2 の組み合わせられたアンテナポートの各々について、チャネル推定値は、受信 U E によって決定され、前記 R E 上で送信された前記データは、前記決定されたチャネル推定値に基づいて、前記受信 U E によって対で処理される、

コンピュータ読取可能な媒体。

[ C 4 2 ] 前記アンテナポートの前記対を組み合わせた結果として前記 U E における結合利得を備えるシグナリングを受信するための命令

をさらに備える、C 4 1 に記載のコンピュータ読取可能な媒体。

[ C 4 3 ] 前記組み合わせられたアンテナポート内の基準信号電力オフセットと前記 U E における前記結合利得との和に一致する電力オフセットを有するデータを送信するための命令

をさらに備える、C 4 2 に記載のコンピュータ読取可能な媒体。

[ C 4 4 ] 前記第 1 または第 2 の組み合わせられたアンテナポートのうちの一方の電力を、他方の組み合わせられたアンテナポートの電力に一致するようにブーストするための命令

をさらに備える、C 4 1 に記載のコンピュータ読取可能な媒体。

[ C 4 5 ] ワイヤレス通信の方法であって、

セルにおける送信のために 2 つ以上のリソースブロック ( R B ) を構成することと、前記セルにおける前記送信のための前記 2 つ以上の R B に対して同じスクランプリングシーケンスを構成することと、

前記 R B の各々において送信されるべきデータを前記スクランプリングシーケンスを用いてスクランプリングすることと



を備える方法。

[ C 4 6 ] 前記 2 つ以上の R B の各々において異なる物理セル識別子を構成することをさらに備える、C 4 5 に記載の方法。

[ C 4 7 ] ワイヤレス通信の装置であって、

少なくとも 1 つのプロセッサと、前記少なくとも 1 つのプロセッサは、

セルにおける送信のために 2 つ以上のリソースブロック ( R B ) を構成することと

、  
前記セルにおける前記送信のための前記 2 つ以上の R B に対して同じスクランプリングシーケンスを構成することと、

前記 R B の各々において送信されるべきデータを前記スクランプリングシーケンスを用いてスクランプリングすることと

を行うように構成される、

前記少なくとも 1 つのプロセッサに結合されたメモリと

を備える装置。

[ C 4 8 ] 前記少なくとも 1 つのプロセッサは、前記 2 つ以上の R B の各々において異なる物理セル識別子を構成するようにさらに構成される、C 4 7 に記載の装置。

[ C 4 9 ] ワイヤレス通信の装置であって、

セルにおける送信のために 2 つ以上のリソースブロック ( R B ) を構成するための手段と、

前記セルにおける前記送信のための前記 2 つ以上の R B に対して同じスクランプリングシーケンスを構成するための手段と、

前記 R B の各々において送信されるべきデータを前記スクランプリングシーケンスを用いてスクランプリングするための手段と

を備える装置。

[ C 5 0 ] 前記 2 つ以上の R B の各々において異なる物理セル識別子を構成するための手段をさらに備える、C 4 9 に記載の装置。

[ C 5 1 ] 命令を記憶するコンピュータ読取可能な媒体であって、前記命令は、プロセッサによって実行されると、

セルにおける送信のために 2 つ以上のリソースブロック ( R B ) を構成することと、  
前記セルにおける前記送信のための前記 2 つ以上の R B に対して同じスクランプリングシーケンスを構成することと、

前記 R B の各々において送信されるべきデータを前記スクランプリングシーケンスを用いてスクランプリングすることと

を備える方法を実行する、コンピュータ読取可能な媒体。

[ C 5 2 ] 前記 2 つ以上の R B の各々において異なる物理セル識別子を構成するための命令をさらに備える、C 5 1 に記載のコンピュータ読取可能な媒体。